発行：2013.8.1（月1回予定）

羅針盤

No.41

東港金属株式会社
東京都大田区京浜島2-20-4
電話　03-3790-1751
URL　http://www.tokometal.co.jp
（見学受付）
電話03-3790-1751 又は 各営業担当

8月、真夏のイメージは、灼熱の太陽、夕立、夜空に広がる花火！かき氷、などが浮かびますが、ここ数年の日本列島の夏は、熱中症で倒れる人が多発するような日が続いたかと思うと、天気予報も間に合わない急な集中豪雨が発生して、町が流される地域が出たり、夏の風景が以前とは様変わりしているようです。
自分の周りが豪雨の影響を受けなかった、というのも偶然に過ぎないのです。今の無事を感謝して、情報に 敏感に テレビやラジオなどで雨の降り方の変化に気をつけましょう。コミュニティでの情報網を予習(チェック)することも必要かもしれません。いざという時に、予習は大きな力となると東日本大震災のニュースにもありました。

8月はまた学校の夏休みです。海水浴に、登山に、そしてお盆の帰省にと集団移動が続きます。事故なく無事に帰宅し、風立つ秋を迎えましょう。

東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理をお受けいたします。
身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。

☆羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・・市況からの8月予測

営業部　Ｙ の考察

鉄スクラップ ↗ 考察）7月は東京製鉄宇都宮工場は、動きませんでした。現時点でも32,000円／トン。しかしながら他のメーカーは、中盤に下がり終盤に戻しました。8月に関しては、輸出価格も上がっていることから若干の上げが期待されます。

銅 → 考察）7月は、ＬＭＥ6,800ドル／トン、国内銅建値710,000円/トンでスタートし、23日には、参議院のねじれ解消や米量的緩和の早期縮小観測後退等から、値を上げＬＭＥ7,000ドル／トンを超え為替も99円まで戻しましたが、29日に中国政府が19業種に対し過剰生産能力を削除する命じたことから、いきなりＬＭＥが下がり、国内銅建値も30,000円／トン下がりました。最終的にはＬＭＥ6,800ドル／トン台に戻り国内銅建値も710,000円／トン。8月は横ばいと思われます。

アルミ → 考察）7月はＬＭＥ1,780ドル／トン台でスタートし、最終的にはＬＭＥ1,800ドル／トン台で終了。多少上物は上がりました。8月に関しては、原料も横ばいのため変化は見られないでしょう。

プラスチック → 考察）ペット価格が上昇していますが、その他のプラスチックは変化なし。8月も7月同様横ばいでしょう。

7月予測の自己評価

鉄スクラップ	×	アルミ	○
銅	×	プラスチック	○

☆羅針盤

天童市について

羅針盤39号に続き、天童支店の周辺地域をご案内致します。
天童支店は、天童市の北東部に位置しています。
「天童」、神々しくも珍しい名前ですが、地名の由来を天童市のホームページからの抜粋で概要をご紹介しましょう。
それは、遠い昔話で、千数百年も昔のある春の日、舞鶴山の山頂で、お昼を過ぎた頃に、行基という偉いお坊様が一心に念仏を唱えておられました処、突然、山の上に紫色の雲がたなびき、笛や太鼓の世にも美しい音楽とともに、天から二人の童子が行基の目の前に舞い降りてきました。一人は護衛童子、もう一人は摩竭童子と名乗り、驚いてぼう然としていた行基にこう言いました。
「われは、自在天の使者にして、貴僧はこの山の大士なり、よろしく一宇を建立し、一切衆生を念仏すべし。」と言い残すと、どこへともなく消えてしまいました。
この話を聞いた村人たちは、ひと目、童子の姿を拝もうと急いで山に登り、童子の行方を捜しましたが、誰も見つけることはできなかったそうです。その後、行基は、二人が降り立った霊峰を天童山と名付け、それ以来、天童山の四方の里は天童と呼ばれるようになったということです。また、「二」「人」の文字を組み合わせて→「天」とし、さらに「童子」を組み合わせて天童と書くようになったとの言い伝えもあるようです。
その天童市に在る我が天童支店からは、車で5分走れば天童温泉があります。将棋駒の生産で知られた土地で、春には、舞鶴山で花見と共に人間将棋というイベントがあります。ニュース等でご覧になった方も多いと思いますが、公園内に大きな将棋盤を敷き、その上に甲冑を着た兵士や腰元に扮した人間が巨大な将棋の駒となり、プロ棋士が駒の動きを指示し勝負をいたします。
スポーツも盛んであり、サッカーのモンテディオ山形（Ｊ2）、バレーボールのパイオニアレッドウイングスのホームもあり、スポーツの振興にも力を入れている地域でもあります。
お隣の市、東根市はさくらんぼの名産地としても有名です。
気候は盆地で夏は暑く、（過去の最高気温は、日本第2位！）、冬は雪が多く、朝早く出勤し、社員6人で雪かきを行なってからの業務！といった、四季を堪能できる土地柄となっております。
また、隣県の宮城県名取市には、当社の仲間、東北トライメタルズがあります。天童支店で製品、材料を販売し、加工後のスクラップを東北トライメタルズで回収という流れを作れるように、日々営業を展開しております。
製造業の厳しい状況は続いていますが、東港金属天童支店として、製品販売、回収、リサイクルをお客様へ提案し、皆様の力になれるよう、社員一同、努力して参ります。
次回は、芋煮、蕎麦などの天童地方の食も紹介を致します。

私の野球人生

（第5回）

前回は台湾遠征初日を書きましたが、今回は初日で気がついた当時の台湾野球の面白いところを三点ばかりお話致しましょう。

一つ目は、初戦で気づいたのですが、台湾の選手はみな、試合中でも財布をポケットに入れていることでした。監督に聞いたところ、当時の台湾の国情で、泥棒が多く、スポーツをしているときも、財布は絶対に体から離さずにいると聞いた時は、本当にびっくりしました。初めて海外経験をして、自分が住んでいる日本の良さを感じたことも記憶にあります。
二つ目は、観客の多さです。
硬式野球ですが、たかが中学生の野球の試合にスタンドが満員になるのです。そんなに大きい球場ではありませんが、５千人はいたと思われるぐらいスタンドが満席になっていました。
なんでそんなに入るのか聞いたところ、日本対台湾の国際試合ということ、当時も台湾では野球が非常に人気があったこと、もう一つは野球賭博をしていたようです。
何対何でどちらが勝つかを賭けていたようで、どおりで歓声がすごく、盛り上がっているなぁーと感じられたのは賭けていたからでした。あんなに大勢の観客の前でプレーするのも初めての経験で、まだ中学生の野球の試合で野球賭博をしていたのも当時の日本では考えられないことの一つでした。
三つ目にびっくりしたことは、当時の台湾の選手はこの野球の試合で給料をもらっているということでした。
中学生なのに野球で給料？これってプロですよね・・・
給料は野球賭博の中から出るのかは聞きませんでしたが、活躍した分で金額も変わってくるということは聞きました。

このような環境でやっていたので、彼らのプレーは個人プレーが非常に目立ち、そこが唯一隙のあったところだと感じていました。
また、我々もかなり必死でしたが、彼らは生活がかかっており、中学生ながら家族を養っていたと聞き、ここでも私たち日本での生活、国の裕福さを思い知って、幸せだと感じて帰国したことを今でも思い出します。

ここまでの対戦成績は２勝３敗で負け数が勝数を上回っておりましたが、最終戦はいよいよ前大会で世界一になった美和（びわ）というチームとの対戦です。
次回は最終戦での様子をお話します。

溝口　仁（営業部主任）